

めざす子ども像

## 生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

### 『奈良を知る 地域を知る』－世界遺産と環境－ ～クロスオーバー若草 点から線へ、線から面へ～

今年度の取組紹介

#### ・地域合同文化講演会

今年度は、若草中学校元教員の北村雅昭先生を講師にお招きし「松永久秀と多聞城」と題し、ご講演いただきました。戦国大名である松永久秀がこの地に多聞城を築いたことや織田信長などの歴史上の人物が訪れた際の逸話など大変興味深い貴重なお話をさせていただきました。生まれ育った地域に対する誇りと深い学びをいただきました。地域外の方々も多く参加され熱心に講演を聴かれておられました。



#### ・コーディネーター会議

年間6回の「地域コーディネーター会議」を継続して開催し、和やかに活動することができました。地域のコーディネーターが集まり情報交換や意見交換することでよりつながりが深まってきていることを実感できました。



今年度のまとめ

今年度も地域コーディネーター会議の実施や10回目を迎える地域合同文化講演会の開催など計画どおりの活動ができました。これらの長年の継続的な活動に対して文部科学省から文部科学大臣表彰をいただいたことは地域にとっても誇りであり大変喜ばしいことでした。地域と学校、地域と地域の連携をさらに深め人々のつながりをつくっていきたくと考えています。

来年度に向けて

- ・地域コーディネーター会議の開催により、コーディネーターのつながりをさらに深めていきます。
- ・地域の歴史を学んだり地域のことをよく知った人材の発掘等をすすめるキャリア教育に繋げていけるよう地域全体の理解を深める取り組みを模索していきます。
- ・広報活動を活性化し、幅広く地域を知ってもらう機会を持ちます。

めざす子ども像

## 生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

### ・ 学びをはぐくむ

今年度の取組紹介

#### ○学習支援

- ・ 学習支援冊子「学びのはぐくみ」の作成・配布
- ・ 「中3学習会」ボランティア

3年生では進路実現に向けてより確かな学力をつけるために地域ボランティアに協力いただき学習会を行っています。



#### ○地域と共に取り組む行事

- ・ 「ゲストティーチャー」から学ぶ
- 2年生で職場体験の事前学習会、障がい者理解講演会にゲストティーチャーをお迎えし、学びました。



#### ○環境整備

- ・ 「図書室と校地環境の整備」

PTAや地域の方々がボランティアとして図書室の蔵書整備や飾り付け、校舎壁面のペンキ塗り、季節の花の植え替えなど生徒と共に学習環境をより美しく整備していただきました。



#### ○安全支援

- ・ 学校行事等の見守りや「部活動巡回ボランティア」

学校行事や部活動の場に顧問が付けない職員会議時など、保護者が巡回ボランティアとして見守っていただいています。見守り活動をしていただきました。

今年度のまとめ

保護者・地域の方々に学校にきていただき生徒の様子を見ていただき、学習環境の整備など多くの支援をしていただきました。また、生徒たちはゲストティーチャーなど多方面でご活躍の方々から多くのことを学ぶことができました。支援事業を通じて地域の方々とのつながりを感じながら将来に向けての学びをはぐくんでいくことができました。

来年度に向けて

来年度も地域コーディネーターをはじめ地域の方々との連携をより深め、生徒たちが将来の進路選択に向けての学びをはぐくんでいけるよう継続的な支援をしていきたいです。

めざす子ども像

**生まれ育った地域に誇りを持ち、****多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標

自分たちの育った校区に誇りを持ち、その素晴らしさを校区内外に発信し、より地域のきずなを深め合えるようにする

☆今年度の取組紹介

- ・つざかフェスタ（地域連携事業発表会）を通して

本校は、低学年は生活科、中学年・高学年はつざかタイム（総合的な学習の時間）で、自分たちが知り得たことや地域の方から教えていただいたことを基に、自分たちの考えや思いをこのフェスタで発信しました。1・2年生は「本を読む」をテーマに『日本むかし話を読んでみよう。声に出して読んでみよう。日本の昔話を知ろう。』を目標に練習し、昔話の朗読と演技を発表しました。また、鼓阪の馴染みの鹿についてのお話と鹿苑での学びも伝えました。3・4年生は「大切な命を守るために」をテーマに消防と警察について、学習し、私たちの『大切な命を守るために』できること・知ってほしいことをミニ劇やクイズを通して発表しました。5年生は「夢を信じて」をテーマに、今、がんばっていること、今、目指していること、今、大切にしたいことにスポットを当てた発表をしました。6年生は「私たちがつくる平和」をテーマに、戦争の怖さ、悲しさについて学んできました。そして、二度と戦争が起きないように、自分たちが平和な世界をつくっていくという覚悟を発表しました。



- ・バラタナゴ保全活動事業を通して

平成22年2月に奈良県産ニッポンバラタナゴ里親第1号に本校が認定され、それ以来、近畿大学農学部の北川先生のチームに協力していただき、今年で9年目、絶滅の危険のある「命」の大切さを学ぶ学習を続けています。



☆今年度のまとめ

本校区は、世界遺産に囲まれた素晴らしい環境の中にあり、様々な行事・伝統等、地域が守り続けてきた事柄が多い。このような環境の中で、学校が、子どもたちの為に、様々な「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出することで地域との結びつきを深めることができ、生まれ育った地域に誇りを持ち、地域の方々とのつながりが深まったように思います。地域の方々との「であい」の演出を今後も大切に、この活動を進めていきたいです。

☆来年度に向けて

地域の「ひと」「もの」「こと」と出会い、生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもを育てる取組をどんどん進めていきたいです。

めざす子ども像

## 生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

佐保に生きる（地域と共に）

## 【今年度の取組紹介】

**地域連携事業～「佐保っ子かるた大会」でのふれあい～**

日頃お世話になっている地域の方々とふれあい、交流を深める場として実施しました。奈良にちなんだ大きなかるたでの遊びや、児童のマーチングバンドで日頃の感謝の気持ちを伝えました。

**地域連携活動～マーチングバンドの演奏～**

本校の伝統マーチングバンドの活動は、講師や教員の指導の下、地域や保護者の協力を得ながら、イベントや学校行事・PTA 行事の場で日頃の練習の成果を披露し、地域とのつながりや地域の活性化にも貢献しています。地域の伝統を守り受け継ぐ心が子ども達にも根付いています。

**自然環境学習～ビオトープを通して～**

9年目を迎えるビオトープでの自然環境学習では、NPO 法人や専門家の指導を受けながら、子ども達が佐保の自然や環境から課題を見つけ、自らの問題として捉えながら、一人一人が自分にできることを考え、実践していくこと学んでいます。

**放課後学び舎事業～地域学生によるサイエンスオープンラボ～**

今年度からの新たな事業で、地域の大学生の指導による学びの場「サイエンスオープンラボ」を実施しました。科学的・数学的な課題を楽しく学び、新学習指導要領の「アクティブラーニング」につながる場として活動できました。

## 【今年度のまとめ】

- 「子ども達の成長を見るのが楽しみ」と声をかけてくださる地域の方が増えてきました。
- マーチング OB の方から、「まだ続けてくれていてとても嬉しい」と応援していただきました。
- 地域からたくさんの声かけを頂けるようになり、学校の活性化につながっています。

## 【来年度に向けて】

- ビオトープ学習を地域に発信していく場を、さらに広げていきます。
- 放課後学び舎事業を継続して、地域の学校との連携を深めていきます。
- さらに地域の人材や歴史・風土の活用材を発掘して、教育に生かしていきます。

めざす子ども像

## 生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

地域とのふれあい、人・もの・こと との豊かな体験活動を通して、学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童を育てる

### 【今年度の取組紹介】

本校では、児童数の減少に伴い、学校が核となり地域ぐるみで活性化することが喫緊の課題となっています。地域の方々や保護者との連携を取るために、今年度も教職員と地域・保護者との交流の場を設定し、それぞれの取組について理解を深め、課題を共有し合うことができました。隣接する幼稚園も休園となっていますが、中学校区でのこ・幼・小・中の連携による学習活動の活性化、相互の育ち合いを大切にしています。

本校では、①生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験や多くの方々との出会いの場の設定、②図書室や学年園を中心とした学習環境整備を進めています。新興住宅地が多くを占める本校区において、これらの学習を通して児童に地域への理解を深め、愛着や誇りを持たせることを主眼としています。そのために、中・長期的な視点で、より多くの学校協力者やボランティアによる学校支援の輪を広げようと努めています。本校の特色の一つである「菜の花プロジェクト」は、これを核として世界遺産学習、環境教育へと体系的につなぎ、魅力ある総合的な学習の時間を構築し、特色ある学校づくりをめざしています。今年も、とれた菜種油を、お世話になった地域の方々やボランティアの方々とともに、5年生が東大寺と春日大社に灯明油として届けました。子どもたちにとって大変貴重な機会を与えていただくことができました。



### 【今年度のまとめ】

「菜の花プロジェクト」を中心に、安全見守り活動、地域交流活動等、各活動を深化・発展させてきました。特に、今年度は中央図書館から月2日来られる司書の先生とボランティアの方々との協力により、図書室がより使いやすく改善されました。また、特色ある活動や日々の安全活動により、子どもたちと地域との繋がりもより深くなり、今年度も手紙や感謝状を贈り感謝の気持ちを伝えました。これらの取組は、コミュニケーション力や表現力の向上にも繋がっています。

### 【来年度に向けて】

さらに地域とともにある学校づくりを進めていくためには、運営協議会との連携により各取組を充実させていく必要があると考えています。特に、地域・家庭・学校が一体となって、子どもの教育や地域の在り方について意見交流ができる場である地域交流会の活性化に努め、多様な分野で協力していただけるよう、今までの積み重ねを大切にしながら、さらに深化・発展させていきたいです。

めざす子ども像

**生まれ育った地域に誇りをもち、多様な進路****選択ができる子どもの育成**

取組目標

幼稚園・保護者・地域の連携を大切にしながら、地域の自然環境  
様々な人々との関わりをいかした体験を重視し、豊かな心と体を  
培い、友達と過ごす喜びを育む。

## 【今年度の取組紹介】

## ○英語で遊ぼう&lt;異文化ふれあい事業&gt;

今年で2年目になる英語で遊ぼうでは、ゲストティーチャー指導の下、体を動かしたり、ゲームや歌、絵本を活用したりしながら、英語に楽しく親しむことを目的に取り組んできました。はじめは緊張気味の子ども達も、次第に先生が来られるのを楽しみに待つようになりました。また、教えてもらった英単語を得意気に友達と話す姿や、英語の挨拶を先生や友達と楽しそうに交わす姿も見られ、英語を身近に感じるようになりました。



## ○さほっ子クラブ&lt;伝統文化ふれあい事業&gt;

年間7回、地域の方々の方々に「茶道」「華道」「柔道」「剣道」の指導をいただいています。日本の伝統文化に触れながら、挨拶や礼儀作法も学び、人と触れ合う楽しさや豊かな人間性を育てたいと願い行っています。子ども達は、自分が選んだクラブで一年間通していろいろな経験をし、新しい事を教えてもらう喜びや上手くなっていく満足感を感じることができました。



## 【今年度のまとめ】

地域の方々の温かいご指導や触れ合いを通して、子ども達は、地域の方を身近に感じ、大切にされている喜びや感謝の気持ちをもつなど、地域の方とのつながりが深まりました。新しい技術を身につけることだけでなく、地域の方が、子ども達の姿を優しく受け止め、関わってくださっていることから、子ども達の自信や達成感に繋がっています。また、年間を通した活動により、保護者と地域の方とのコミュニケーションも高まり、地域で子ども達は育まれていることを感じる機会にもなっていると思われます。

## 【来年度に向けて】

次年度も継続して、地域の教育力をいただきながら「地域の中の幼稚園」として、より一層、園・家庭・地域と連携を図り、様々な感動体験ができるように取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像

**生まれ育った地域に誇りを持ち、****多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標

地域や小学校との連携を密にし、世代を超えたふれあいや体験を通し、豊かな心と夢を育む。

## 【今年度の取組紹介】

○伝統文化ふれあい事業では、和太鼓宝亀殿の方々を招いて和太鼓の演奏を聞かせていただいた後、バチの持ち方、良い音の出るたたき方など和太鼓の指導をしていただきました。伝統文化を体験できる貴重な機会になっているのはもちろんですが、力強い和太鼓の音色を全身で感じ、友達と一緒に合わせる心地よさを味わうことができました。



○体力づくり事業では、子どもたちの体力向上、体幹を意識した運動能力の向上を目的に体操教室の先生に来ていただきました。運動器具による指導やうまくなるコツを一人一人丁寧にアドバイスしてもらうことで、様々な運動遊びに積極的に取り組み、体を動かして遊ぶ楽しさを感じることができました。



○畑づくり事業では、畑の先生として地域の方に来ていただき、苗の植え方を教えてもらいました。夏には水やりや草引きなどの世話をし、秋になると大きく育ったサツマイモを収穫することができました。11月には焼き芋パーティーの準備もしていただき、地域の方と一緒に焼きたてを味わう嬉しい経験となりました。畑の土や苗の生長、野菜に触れることで収穫の喜びと食への感謝など豊かな心の育ちと共に、水やり・草引き・虫探しなど世話や発見をする喜びは貴重な体験となりました。



## 【今年度のまとめ】

こども園として開園し2年が経ち、地域の方に来ていただく機会が増えました。熱心で温かい地域の方々との連携を大切にしながら、様々な生活体験を広げることができました。畑づくりの活動では、地域の方からの丁寧な指導を通して生長や収穫の喜びなど様々なことを教えていただいたことは、学び多い体験となりました。また、体力づくりの活動では、年齢に応じた運動遊びに繰り返し取り組む中で、やればできる喜びが自信となり、次の活動に向かう意欲へと繋がっています。

## 【来年度に向けて】

これまでの事業を継続し、様々な体験を通して豊かな心と夢を育むために、来年度はさらに園・家庭・地域の連携を深めながら、内容の充実を図り、子どもの体力向上と笑顔あふれるこども園をめざしていきたいと思います。地域の方々の力をお借りしながら、地域に開かれたこども園としての役割を果たしていきたいと思います。